

双六岳～黒部五郎岳

日 時：2020年 9月19日（土）天気： 晴れ
2020年 9月20日（日）天気： 晴れ 少し曇り
2020年 9月21日（月）天気： 晴れ

メンバー さくら班 1名 + 会員外 1名 計2名

コース：⇒

18日 15:30 自宅 ⇒ 21:30 松本駅 ⇒ 23:00

新穂高温泉郷 登山者用駐車場着（仮眠）

19日 6:00 駐車場 ⇒ 6:14 ゲート ⇒ 7:20 わさび平小

屋 ⇒ 7:50 林道分岐 ⇒ 8:50 秩父沢出会 ⇒

10:00 イタドリヶ原 ⇒ 10:45 くまの踊り場 ⇒

11:50 鏡平山荘 ⇒ 12:50 弓折中段 ⇒ 13:30

笠が岳分岐 ⇒ 14:50 双六小屋テン場

20日 6:30 双六テン場 ⇒ 7:00 双六岳分岐 ⇒ 7:30

中道分岐 ⇒ 8:10 三俣蓮華岳山頂 ⇒ 9:30 黒部

五郎小屋 ⇒ 10:50 カミナリ岩 ⇒ 11:50 黒部

五郎小屋 ⇒ 14:50 双六岳山頂 ⇒ 15:50 双六

小屋テン場

21日 6:25 双六小屋テン場 ⇒ 8:10 鏡平山荘 ⇒ 9:50

秩父沢出会 ⇒ 10:30 林道分岐 ⇒ 10:50 わさ

び平 ⇒ 11:35 ゲート ⇒ 12:00 駐車場 ⇒

17:00 松本駅 ⇒

22日 1:30 自宅

〈報告〉

7月の連休に計画していた山行が雨で中止となり、9月の連休に移動しての山行となりました。今年のテン場は予約制で、9月19日 双六小屋テン場、9月20日 黒部五郎小屋テン場 を予約しての出発となりました。

18日（金）15:30 自宅を出発して阪和高速泉南インターへ、高速に乗ったとたん大雨で視界が全く無くそれでも何とか岸和田SAに逃げ込み20分ほど雨あがり待ちをして長野へ向かう。21:30 松本駅で同行者をピックアップして23:00に新穂高駐車場に到着 半分位の空きあり

19日（土）新穂高駐車場は朝で80%位の駐車となっている。

予定より一時間遅れの 6:00 前日までの雨でガスが残る中「双六小屋」
へ向け出発!!!

ザック重量 2Lの水込みで約 20Kg 超.....?

「大丈夫や、今日の為に、先週、金剛山へ 21.5K の歩荷して来たんや、大丈夫や大丈夫!!!」言い聞かせながら駐車場からわさび平へ林道歩き、「なんや、やっぱ大丈夫や、たいした事あらへん」

わさび平から林道分岐へ、そして登山道へ「そや、そや、これやこれ、やっぱ登山道やこれやないとな〜〜〜」なんて余裕かましてたら、ここからが地獄!!!。秩父沢に着くころには、左の太腿が攣りザックは肩に食い込み

「いや〜、動物病院に預けた犬の恨みか、日頃の行いが悪いんか〜、先週の歩荷はなんやったんや」なんて思いながら撒収も視野にとりあえず前に.....、太腿が攣れば 68、また攣れば 68、「お医者さん、薬剤師さん、すんませ〜ん、用法守ってませ〜ん.....」

なんとか、熊の踊り場までたどり着き振り返ると林道との分岐があそこに.....、「え、あそこ? こんだけしか来てへん、え〜〜〜」

「撒収か? 小屋も予約やさかいここから先行ったら撒収は出来へん、どう、どう どうしよう.....でも、今帰ったら山の会で何言われるかわからへん、いや、それはまずい!!!」 まあ、頑張っって前に前に.....

ご褒美がこれ 「鏡池」



いや〜〜〜 なんと、神様、鍮様、穂高様が.....

鏡平山荘からの急登もクリアして何とか予定時間より少し遅れで双六小屋
テン場に到着！ テント設営して、ビールをぐび！

18:00 から 4:00 まで 爆睡！ (^o^)/

20日(日) 本来ならテントを撤収して黒部五郎小屋テン場に移動の予定で
したが、前日の疲労と翌日の黒部五郎小屋から新穂高温泉までの移動、和歌
山までの運転を考えて双六小屋テン場のキャンセルを確認すると空きが
出たとの事で、双六小屋テン場で2連泊に変更し黒部五郎岳ピストンに計
画変更する。

テン場の確認等で出発が6:30と遅くなったものの黒部五郎に向けて軽量
ザックでいざ!!!

双六分岐までの急登もなんのその、いや〜〜快調、快調、快調

双六岳から三俣蓮華岳の稜線に出るとはるかかなたに、黒部五郎、薬師、雲
ノ平、水晶、鷲羽、白馬、大天井、鑓、穂高、笠が岳、はたまた日本海まで
一望 来て良かった〜〜。

三俣蓮華岳から黒部五郎小屋までは劇下り、この下りがほぼごろごろ石で何
気に足に来る。黒部五郎小屋で小休止した後、黒部五郎岳へ、しかしながら、
太腿が怪しくなり、もし昨日の様に太腿の攣りが出た場合に双六小屋までの
引き返しの時間を考慮するともうギリギリの時間となることから、カミナリ
岩のあたりで潔く撤退!!! 「てっぺん見えてるのに な〜〜
なんて思いながら、また来ま〜〜す。」

黒部五郎小屋でソーシャルディスタンスを守りながら「山菜うどん」を食べ
三俣蓮華岳への急登もクリア!



若い女の子に「どこからですか〜〜 〰」なんて
声をかけていただきながら、山爺は三俣蓮華岳から
双六岳への稜線歩き..... いや〜、なんかおじ

さんは「ほっこり幸せ!!!」

双六岳へのルートを辿り双六岳頂上へ
そして この写真

双六小屋テン場へ 16:00頃着

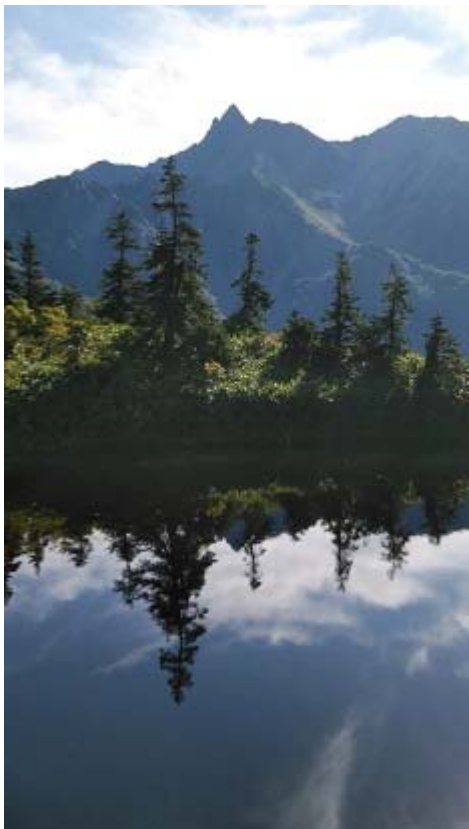
黒部五郎岳撤収は正解かも?の時間でした。

お疲れ様です。の生ビールを ぐびぐび!!!

本日も 爆睡

21日(月) 昨夜は冷え込み、3シーズン用シュラフに、ダウンを着込んで、おまけにカイロを張り付け丁度、

6:25 双六小屋テント場から下山へ、本日も快晴ではあるが2日間の山行でその足取りは重く何とか稜線までの上りをクリア、今日も鏡池、穂高、そして雲海に浮かぶ焼岳、その向こうには森山さんがリーダーで登山中の乗鞍岳の頂上が見える。



笠ヶ岳への分岐から鏡平山荘へ

鏡池ではこの景色でお見送りしていただき ゴロゴロ石の登山道を膝に負担がかから無いようにゆっくり下山、

10:30 林道分岐へ、帰りはここからの林道歩きが辛い、「バスがあれば乗るのにな〜〜」なんて考えながら 11:45 分頃ロープウェイ乗り場へ、ここで荷物の重さを量ると 18.5kg

「なんや、水の分しか減ってへん・・・」

新穂高温泉で3日間の汗を流し、そば定で腹を満たし松本へ、17:00に松本を出て激込みの中央高速を經由して和歌山へは翌日1:30 着

でも、天気にも恵まれた楽しい山行でした。

帰って2日間は 足がパンパンに張って、3日目からは胸から首にかけてパンパン!!! 27日の別の山行をキャンセルする始末!!! 鍛錬不足を痛感した山行でした。